

ふるさと応援寄付金返礼品が出発



↑出発式の様子

11月1日、平成29年度ふるさと応援寄付金の返礼品出発式を広野町役場前で実施しました。広野町のふるさと応援寄付金に3万円以上寄付していただいた方へ広野産の特別栽培米40キロと広野産大豆を使用した無添加味噌1キロを返礼品として贈るもので、今年は95件の申し込みをいただきました。

津波避難訓練を実施



↑双葉消防本部の講評を聞く参加者

10月21日、福島県沖地震を起因とする津波警報発令を想定した津波避難訓練を実施しました。

訓練は、下浅見川地区や折木高萩地区の沿岸部を対象として実施され、対象地区の住民や企業関係者などに参加をいただき、避難経路の確認や負傷者救助訓練を行いました。また、災害対策本部では、町幹部職員の招集訓練、警察・消防への連絡、消防団との連携、町職員への緊急連絡体制などを確認しました。

「広野町を思う中学生」の詩コンクールの優秀賞を表彰



↑表彰を受ける大和田さん（写真中央）

10月11日、広野町役場全員協議会室で、「広野町を思う中学生」の詩コンクールで優秀賞となった作品の表彰式を実施しました。

同コンクールは、広野中学生を対象に作品を募集し、52人から114点の作品応募がありました。優秀作品に選ばれたのは、広野中学生3年の大和田美月さんの「生きる」で、作品には広野町の自然を愛し、力強く未来に進む気持ちが込められていました。

大平哲也先生に健康づくりアドバイザー委嘱状を交付



↑大平さん（写真左）に委嘱状を手渡す遠藤町長

10月20日、福島県立医科大学医学部教授の大平哲也先生へ広野町健康づくりアドバイザー委嘱状を交付しました。

大平先生は、広野健康まつりで「笑いと健康」と題した健康セミナーを実施していただいたこともあり、健康づくりアドバイザーとして町の健康づくりについての助言や健康づくり計画策定への支援、講演会や研修会などの講師を務めていただく予定です。

広野町老人クラブ連合会が厚生労働大臣表彰を受賞



↑報告に訪れた大和田会長（写真中央）と門馬副会長（写真左）

10月27日、広野町老人クラブ連合会の会長と門馬副会長が広野町役場を訪れ、優良市町村老人クラブ連合会として老人クラブ育成功労者等厚生労働大臣表彰を受けたことを遠藤町長に報告しました。

これは、広野町老人クラブ連合会が東日本大震災と原子力災害により全会員が避難した後も、役員を中心に高齢者の交流や生きがい事業を継続させたことが認められたもので、10月18日～19日に京都市で開催された第46回全国老人クラブ大会で表彰されたものです。

東日本大震災復興チャリティープロレスから義援金



↑義援金を手渡す宮本和志代表（写真右）

10月16日、広野夢大使で富岡町出身の東日本大震災復興チャリティープロレス宮本和志代表が広野町を訪れ、10月9日に榎葉町で開催したチャリティープロレスで集まった義援金を遠藤町長に手渡しました。

宮本さんは、「チャリティープロレスでは、広野町の皆さんが観戦に来ていただき、大きな励みとなりました。来年もチャリティープロレスを通じた支援を継続していきたいです。」と今後の抱負を話していました。

ひろの秋まつりを開催



↑文化展の様子

11月4日、5日にひろの秋祭りを広野町中央体育館や広野町公民館前駐車場で開催しました。初日の4日は、地元産の野菜などの販売があった収穫祭や落語家による「笑いと健康」をテーマとしたユーモアあふれる話が行われたほか、2日間の日程で文化展を開催し、広野町の各種文化団体会員が丹精込めて仕上げた絵画や手芸、生け花、盆栽などの作品や地元の子どもの絵や習字など、多数の作品が展示され来場した多くの人が鑑賞しました。

日本司法書士会連合会ふたば災害復興支援事務所が開所



↑テープカットの様子

11月1日、日本司法書士会連合会ふたば災害復興支援事務所がニッ沼総合公園の南隣に完成し、開所式が行われました。

ふたば災害復興支援事務所は、相双司法書士総合センターふたば相談所としても機能し、司法書士で広野町出身の石名部^{ゆたか}さんが常駐しています。

同所では相続や登記、原子力損害賠償紛争解決センターへの手続きなど様々な相談を無料で応じてくれます。